

## 整備用地の候補地絞り込み条件について（案）

### 1. 基本的な考え方

整備用地の候補地選定にあたっては、環境面や経済面など様々な観点から、客観性・合理性・妥当性がある選定条件を採用する必要があります。

基本計画検討委員会では、整備用地の選定基準などの候補地を絞り込むための選定条件について検討し、その結果を踏まえた候補地選定（絞り込み）と整備用地決定は行政で行います。

以下に、整備用地の候補地選定にあたっての基本的な考え方を示します。

#### 【基本的な考え方】

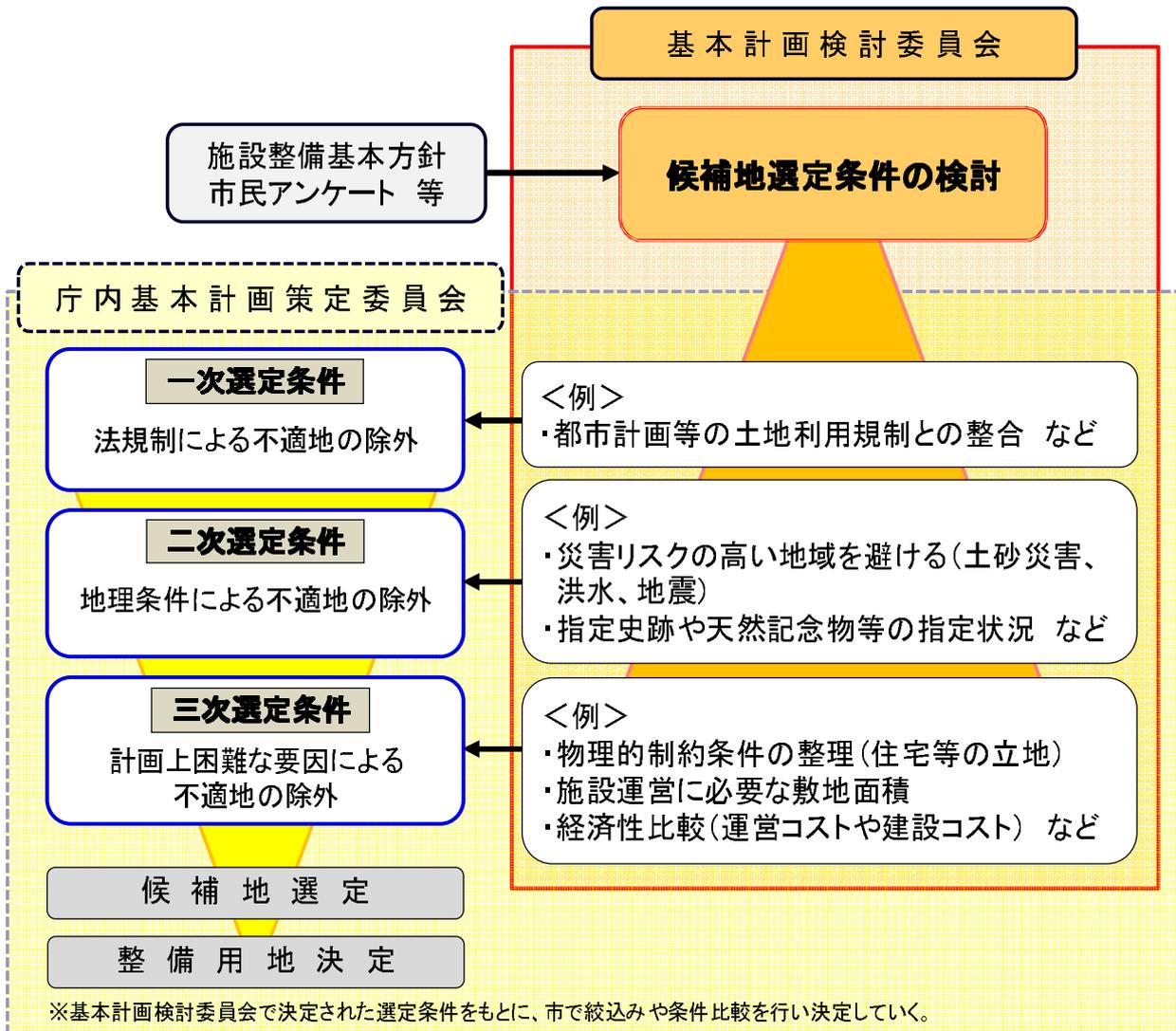
- ① 市内全地域を対象に、**複数段階（ステップ）**で条件を設定し、**選定**を行うこと
- ② 採用する選定条件には、**客観性、合理性、妥当性**があること
- ③ 建設予定地に適用される**法律・条例等の基準に適合**すること
- ④ 周辺環境との調和に十分に配慮し、**環境保全対策に万全を期す**こと
- ⑤ **経済的に優れた場所**を選定すること
- ⑥ 当委員会では、候補地を絞り込むための**選定条件の検討まで**を行うこと  
⇒ 以上を踏まえ、**絞り込みと整備用地決定は行政**で行うこと

### 2. 複数段階（ステップ）の選定条件（案）

複数段階による選定には、他自治体での整備用地選定で採用されている事例の多い「ごみ処理施設整備の計画・設計要領」（社団法人全国都市清掃会議）にて示されている候補地選定方法があります（基本構想資料編を参照）。これを踏まえた候補地選定の流れを次ページに示します。

また、候補地絞り込み条件の検討にあたっての参考情報として、市民アンケートで得られた整備用地に関するご意見の傾向についても示します。

< 候補地選定の流れ >



＜候補地絞り込み条件の検討にあたっての参考情報＞

【市民アンケートでのご意見の傾向】

設問2 新しいごみ処理施設に求めるもの

＜(1) 安定稼働が確保できること・安全であること以外に何を重視・期待するか＞

- 「循環型まちづくりへの寄与  
（ごみの資源化、エネルギーの有効利用等）」……………55.2%【第1位】
- 「環境保全性（排ガス、臭気、騒音、振動、排水等）」…51.8%【第2位】
- 「経済性（施設建設コストの縮減、  
ごみ処理コストの縮減、売電収入等）」……………30.5%【第3位】
- 「利便性（ごみの持ち込みがしやすい等）」……………28.6%【第4位】

＜(5) どのような場所に出来ればよいと思うか＞

- 「ごみの収集を効率的に行うことができ、  
収集コストを小さくできる場所であること」……………47.6%【第1位】
- 「災害時にごみ処理機能を継続するため、  
自然災害で被害が出にくい場所であること」……………38.3%【第2位】
- 「建設に際して大規模な造成が必要ないなど、  
建設コストを小さくできる場所であること」……………28.6%【第3位】
- 「建設工事で自然への影響が少ない場所であること」…22.1%【第4位】

### 3. 今後の進め方

複数段階の構成や選定条件の内容については、第5回委員会にて審議いただく予定です。